

	<p><u>代表的な検査所見 :</u></p> <p><input type="checkbox"/> 病理検査 <input type="checkbox"/> 尿検査；蛋白尿 <input type="checkbox"/> 血液検査；低アルブミン血症 等</p> <p><u>参考資料</u> 重篤副作用疾患別対応マニュアル：ネフローゼ症候群 http://www.info.pmda.go.jp/juutoku/file/jfm1003007.pdf</p>	
全身播種性 B C G 感染症	<p><u>疾病概要 :</u> BCG が全身に播種した状態である。</p> <p><u>代表的な臨床所見 :</u></p> <p><input type="checkbox"/> 全身症状（例；発熱、咳嗽） <input type="checkbox"/> リンパ節腫脹 <input type="checkbox"/> 病変部の臓器症状（肺、骨、皮膚等） 等</p> <p><u>代表的な検査所見 :</u></p> <p><input type="checkbox"/> 菌の証明（喀痰、胃液、胸水、髄液） <input type="checkbox"/> 血液検査；炎症所見 <input type="checkbox"/> 画像検査；リンパ節腫大、空洞病変、粟粒陰影 等</p>	<u>1年</u>
B C G 骨炎・骨髓炎・骨膜炎	<p><u>疾病概要 :</u> BCG による骨炎、骨髓炎、骨膜炎である。</p> <p><u>代表的な臨床所見 :</u></p> <p><input type="checkbox"/> 局所症状（例；病変部の腫脹、疼痛、腫瘍等） 等</p> <p><u>代表的な検査所見 :</u></p> <p><input type="checkbox"/> 菌の証明 <input type="checkbox"/> 画像；骨の透亮像、膿瘍形成 等</p>	<u>2年</u>
皮膚結核様病変	<p><u>疾病概要 :</u> 真性（正）皮膚結核や結核疹等結核菌によって皮膚に起こる病変の総称である。</p> <p><u>代表的な臨床所見 :</u></p> <p><input type="checkbox"/> 皮疹（全身性、限局性）</p> <p><u>代表的な検査所見 :</u></p> <p><input type="checkbox"/> 菌の証明 <input type="checkbox"/> 病理検査；類上皮肉芽腫、Langhans 巨細胞 等</p>	<u>3ヶ月</u>
化膿性リンパ節炎 (B C G)	<p><u>疾病概要 :</u> 病原微生物のリンパ流への侵入により、リンパ節に炎症を起こし、化膿した状態である。</p> <p><u>代表的な臨床所見 :</u></p> <p><input type="checkbox"/> 全身症状（例；発熱、倦怠感） <input type="checkbox"/> 局所症状（例；リンパ節での膿瘍、瘻孔の形成）</p> <p><u>代表的な検査所見 :</u></p> <p><input type="checkbox"/> 菌の証明 <input type="checkbox"/> 血液検査</p>	<u>4ヶ月</u>
血管迷走神経反射 (失神を伴うものに限る)	<p><u>疾病概要 :</u> 自律神経のバランスが崩れ、血圧の低下、徐脈が生じる病態であり、脳血流が低下して失神に至ることがある。</p> <p><u>代表的な臨床所見 :</u></p> <p><input type="checkbox"/> 失神 <input type="checkbox"/> 悪心 <input type="checkbox"/> 発汗 <input type="checkbox"/> 血圧の低下 等</p>	<u>30分</u>

(別紙様式2)

予防接種後に発生した症状に関する報告書（保護者用）

患者 (予防接種を受けた者)	氏名		性別	1男 2女	接種時 年齢	歳 月			
	住所				生年月日	T S H 年 月 日生			
	保護者氏名		電話番号						
予防接種を 実施した者 (医師名等)	氏名								
	医療機関名				電話番号				
	住所								
今回報告する 症状を診断 した医師 (※)接種者と 異なる場合	氏名 1 主治医 2 その他 ()							
	医療機関名				電話番号				
	住所								
接種の状況	接種日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分			出生体重	グラム (患者が乳幼児の場合に記載)			
	接種した ワクチンの種類				ワクチンの ロット番号				
	同時接種した ワクチン				同時接種した ワクチンの ロット番号				
	予防接種前の問診時での留意点(アレルギー・基礎疾患・発育・最近1ヵ月以内のワクチン接種や病気等)								
	1 有 2 無								
今回報告する 症状の概要	診断名								
	発生時刻	平成 年 月 日 午前・午後 時 分							
	概要(症状・微候・臨床経過・診断・検査等)								
予後	1 死亡 (剖検所見)								
	2 入院 (病院名:)	入院日	・	・	・	退院日	・	・	・
	3 後遺症 ()								
	4 その他 ()								
回復状況	1 回復している	2 まだ回復していない	3 不明						

出力ファイルの設定値

項目名(2行目)	元 ファイル 列	表 ファイル 列
都道府県	1	1
年齢	2	
月齢	3	
年齢コード	16	2
ポリオ1型 抗体価	4	5
ポリオ1型 抗体価 単位	5	6
ポリオ2型 抗体価	6	7
ポリオ2型 抗体価 単位	7	8
ポリオ3型 抗体価	8	9
ポリオ3型 抗体価 単位	9	10
集計区分	18	3
集計区分詳細	19	4
OPV(生)	10	
IPV(不活化)	11	
DPT-IPV	17	
DPT-IPV(阪大微研)	12	
DPT-IPV(化血研)	13	
DPT-IPV(製造所不明)	14	

ディレクトリ構成

麻しん集計ツール.xlsm ←実行ファイル
都道府県マスタ

OUT

└ 2012_0824_1203

 ○○.csv

 EOO.csv

 ポリオ集計ツール表.xls

Template

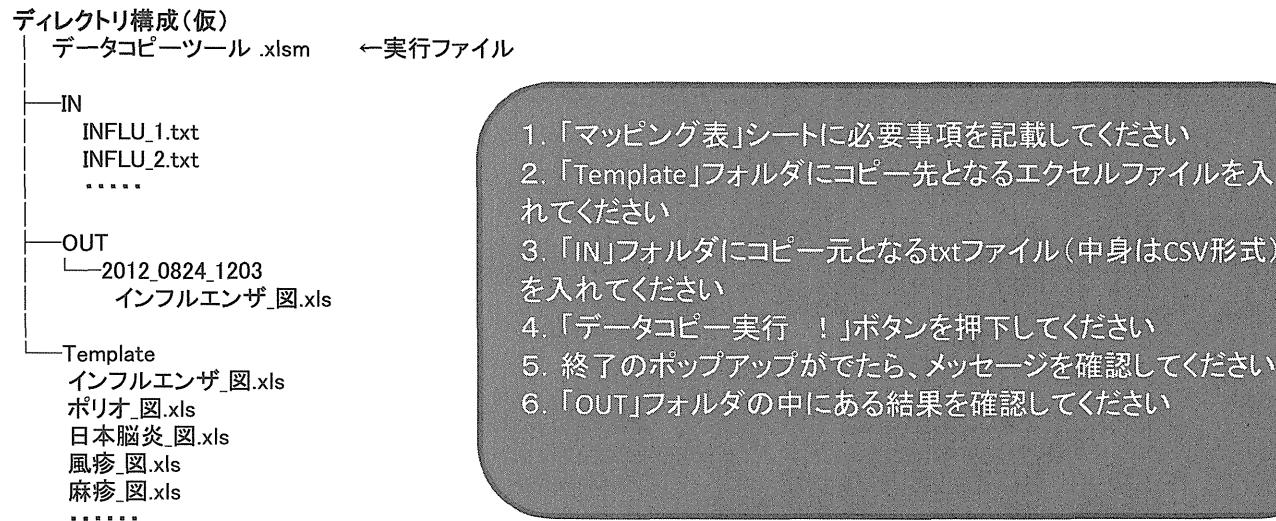
 ポリオ集計ツール表.xls

参照

メッセージ

実行

資料2 作表ツール



結果

メッセージ

正常に終了しました

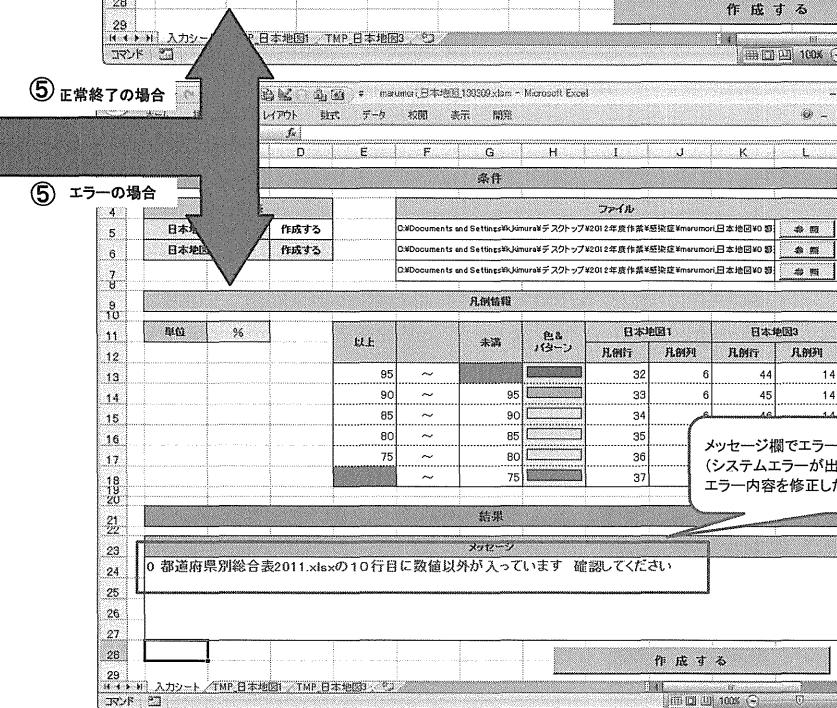
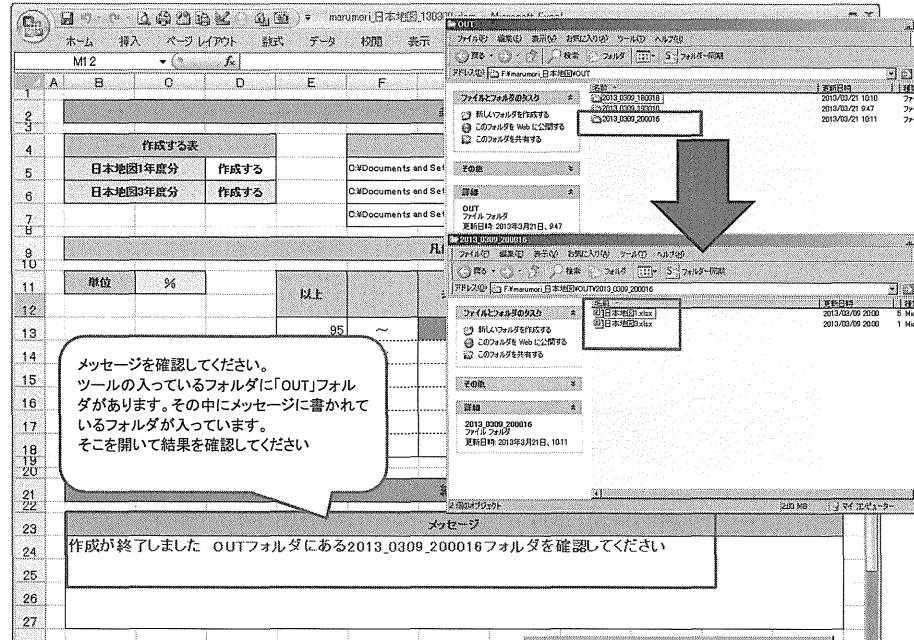
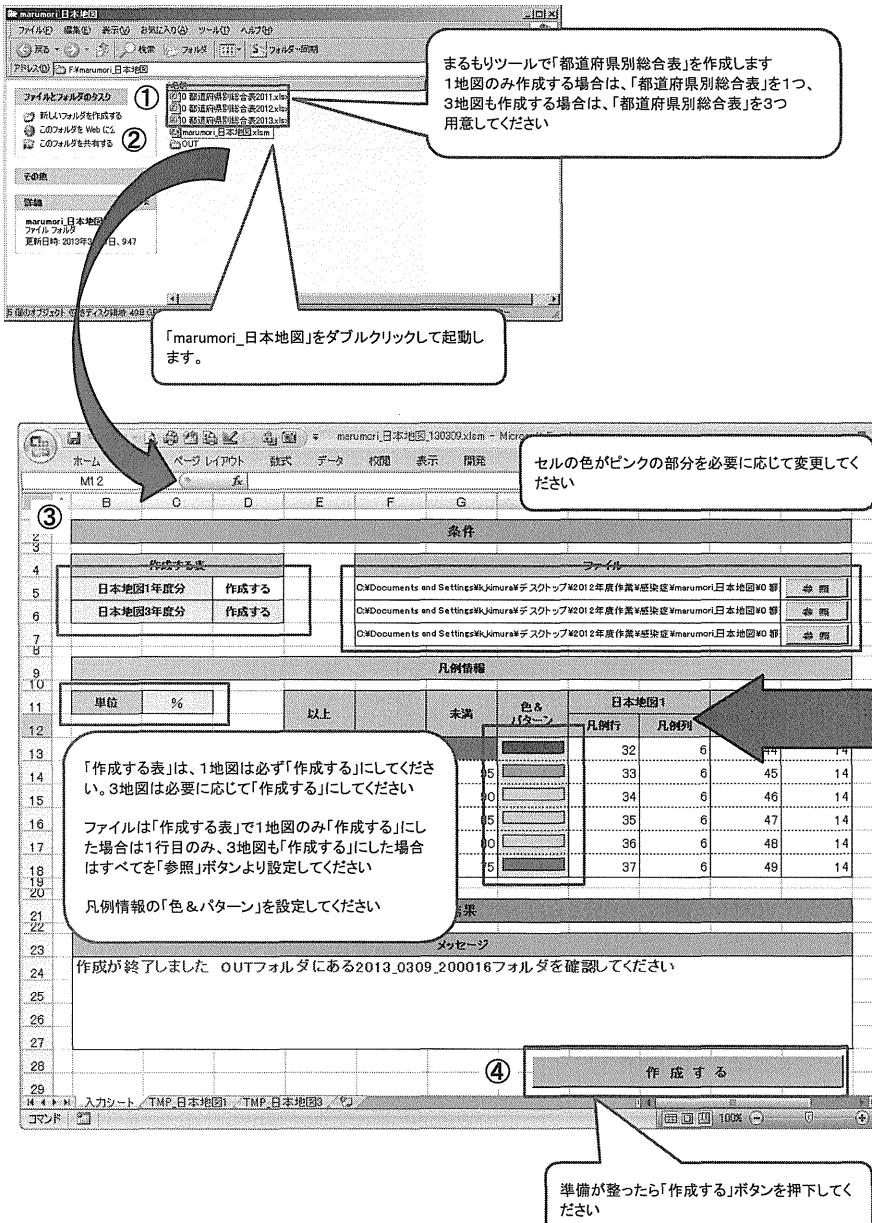
データコピー 実行 !

資料2 作図ツール

条件							
作成する表		ファイル					
日本地図1年度分	作成する	C:\Documents and Settings\k_kimura\Desktop\2012年度作業\感染症\marumori_日本地図\0 参照					
日本地図3年度分	作成する	C:\Documents and Settings\k_kimura\Desktop\2012年度作業\感染症\marumori_日本地図\0 参照					
C:\Documents and Settings\k_kimura\Desktop\2012年度作業\感染症\marumori_日本地図\0 参照							
凡例情報							
単位	%	以上	未満	色 & パターン	日本地図1	日本地図3	
凡例行	凡例列	凡例行	凡例列				
95	~	95	90	32	6	44	14
90	~	90	85	33	6	45	14
85	~	85	80	34	6	46	14
80	~	80	75	35	6	47	14
75	~	75	75	36	6	48	14
	~			37	6	49	14

結果							
メッセージ							
作成が終了しました OUTフォルダにある2013_0309_200016フォルダを確認してください							
作成する							

まるもりツール(日本地図作成)の使い方



		出生時	生後2ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	
定期接種法	*1 DPT I期 DT II期	DPT														DT				接種						
	BCG																			標準的な接種年齢						
	ポリオ(経口)																			接種が定められている年齢						
	麻疹・風疹混合(MR)																			接種年齢						
	*2 麻疹(はしか) 風疹																			母子感染防止事業						
	4平成5年間	麻疹・風疹混合(MR)																		やむを得ない事情を有する場合のみ						
	~520年間	*2 麻疹(はしか) 風疹																								
	日本脳炎																			高校3年生に相当する1年間の者。						
	Hib *4 (インフルエンザ菌b型)																			高校3年生に相当する1年間の者。						
	肺炎球菌 *5 (7価結合型)																			高校3年生に相当する1年間の者。						
任意接種	HPV *6 (ヒトパピローマウイルス)	2価																		高校3年生に相当する1年間の者。						
	肺炎球菌 (23価多糖体)																			高校3年生に相当する1年間の者。						
	インフルエンザ																			高校3年生に相当する1年間の者。						
	水痘																			高校3年生に相当する1年間の者。						
	おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)																			高校3年生に相当する1年間の者。						
	B型肝炎																			高校3年生に相当する1年間の者。						
	A型肝炎																			高校3年生に相当する1年間の者。						
	口タウイルス *8	1価																		高校3年生に相当する1年間の者。						
		5価																		高校3年生に相当する1年間の者。						
			2回接種																	高校3年生に相当する1年間の者。						
																				高校3年生に相当する1年間の者。						
			3回接種																	高校3年生に相当する1年間の者。						
																				高校3年生に相当する1年間の者。						

*1 D:ジフテリア, P:百日咳, T:破傷風を表す。

*2原則としてMRワクチンを接種。なお、同じ期間内に麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けた者、あるいは特に単抗原ワクチンの接種を希望する者は単抗原ワクチンを接種。

*3 第1期で受けそびれていた人も、この年齢で残りの回数を定期接種として受けられます。なお、平成24年度に8歳となる者及び9歳となる者への第1期初回接種、10歳になる者への第1期追加接種は積極的勧奨の対象となります。

*4 2008年12月19日から国内での接種開始。生後2カ月以上5歳未満の間にある者に行なうが、標準として生後2カ月以上5歳未満で接種を開始すること。接種方法は、通常、4~8週間の間隔で3回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能)。3回目の接種後おおむね1年の間隔をおいて、1回皮下接種。接種開始が生後2カ月以上12カ月未満の場合は、通常、4~8週間の間隔で2回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能)。2回目の接種後おおむね1年の間隔をおいて、1回中止接種。接種開始から1年以上5歳未満の場合は、通常、1回中止接種。育成プログラムによる接種終了の対象。

*5 2010年11月16日に薬事法に基づき製造販売承認され、2010年2月24日から国内での接種開始。生後2ヶ月以上7ヶ月未満で開始し、27日間以上の間隔で3回接種。追加免疫は通常、生後12～15ヶ月に1回接種の合計4回接種。接種もれ者には、次のような
ワクチン接種緊急促進事業の対象

*6 『辛子頃から等ワクシ接種緊急促進事業の対象者』左記事業の対象年齢は、13歳になる年度から16歳になる年度の者(あるいは12歳になる年度から15歳になる年度の者)

*10 古賀ゆかひるノリナノ傳播性姦娠促進症末期の母。此記事案未リ耳に牛糞は、15歳に於ける半度から10歳に於ける半度の有病率は、12歳に於ける半度から15歳に於ける半度に亘り有り。

更に生後2.3ヶ月目にHBフックチンを接種する。生後6ヶ月後にHBS抗原及び抗体検査を行い必要に応じて任意の追加接種を行う(健康保険適用)。

*8 ロタウイルスワクチンは初回接種を1価で始めた場合は「1価の2回接種」、5価で始めた場合は「5価の3回接種」となります。

	出生時	生後2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳
定期 一類 疾病 予 防 接 種 法	*1 DPT I期																								
	*1 IPV I期																								
	DT II期																DT								
	BCG																								
	麻疹・風疹 混合(MR)																								
	*2 麻疹(はしか) 風疹																								
	4(平成 5年間 月) 20年 間 *2. 麻疹(はしか) 風疹																								
	日本脳炎																								
	Hib *4 (インフルエンザ菌b型)																								
	肺炎球菌 *5 (7価結合型)																								
HPV *6 (ヒトパピローマ ウイルス) 2価 4価																									
肺炎球菌 (23価多糖体)																									
インフルエンザ																									
水痘																									
おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)																									
B型肝炎																									
A型肝炎																									
ロタ *8 ウイルス 1価 5価																									

*1 D:ジフテリア、P:百日咳、T:破傷風、IPV:不活化ポリオを表す。IPVは2012年9月1日から定期接種に導入。回数は4回接種ですが、OPVを1回接種している場合は、IPVをあと3回接種します。2012年9月現在、4回目の接種はまだ定期接種としては実施できません。国内でのデータがそろい次第導入される予定です。OPV(生ポリオワクチン)は2012年9月1日以降定期接種としては使用できなくなります。2012年11月1日からDPT-IPV混合ワクチンが定期接種に導入される予定です。

*2原則としてMRワクチンを接種。なお、同じ期間で麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けた者、あるいは特に単抗原ワクチンの接種を希望する者は単抗原ワクチンを接種。

*3 第1期で受けそびれたいた人も、この年齢で残りの回数を定期接種として受けられます。なお、平成24年度に8歳となる者及び9歳となる者への第1期初回接種、10歳になる者への第1期追加接種は積極的勧奨の対象となります。詳しくは、平成24年2月28日付厚生労働省健康局長・農業食品局長通知「日本脳炎の定期の予防接種について」の一部改正(健発0228第2号、農食発0228第1号)をご確認ください。

*4 2008年12月19日から国内での接種開始。生後2ヶ月以上2歳未満の間にある者に行うが、標準として生後2ヶ月以上7ヶ月未満で接種を開始すること。接種方法は、通常、4~8週間の間隔で3回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能)。3回目の接種後おむね1年の間隔をおいて、1回皮下接種。接種開始が生後7ヶ月以上12ヶ月未満の場合、通常4~8週間の間隔で2回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能)。2回目の接種後おむね1年の間隔をおいて、1回皮下接種。接種開始が1歳以上5歳未満の場合、通常、1回皮下接種。子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。

*5 2009年10月16日に薬事法に基づき製造販売承認され、2010年2月24日から国内での接種開始。生後2ヶ月以上7ヶ月未満で開始し、27日以上の間隔で3回接種。追加免疫は通常、生後12~15ヶ月に1回接種の合計4回接種。接種もれ者には、次のようなスケジュールで接種。生後7ヶ月以上12ヶ月未満の場合: 27日以上の間隔で2回接種したのち、60日間以上あけて追加接種を1歳以降に1回接種。1歳:60日間以上の間隔で2回接種。2歳以上9歳以下:1回接種。子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。

*6 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。左記事業の対象年齢は、13歳になる年度から16歳になる年度の者(あるいは12歳になる年度から15歳になる年度の者)

*7 妊娠中に検査を行い、HBs抗原陽性(HBe抗原陽性、陰性の両方とも)の母親からの出生兒は、出生後できるだけ早期及び、生後2ヶ月にHBs抗原及び抗体検査を行って任意の追加接種を行う(健康保険適用)。

更に生後2,3,5ヶ月にHBsワクチンを接種する。生後6ヶ月後にHBs抗原及び抗体検査を行って任意の追加接種を行う(健康保険適用)。

*8 ロタウイルスワクチンは初回接種を1価で始めた場合は『1価の2回接種』。5価で始めた場合は『5価の3回接種』となります。

	出生時	生後2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳		
定期一類疾病予防接種法	*1 DPT-IPV I期			↓	↓	↓																					
	*1 DPT I期																										
	*1 IPV I期																										
	DT II期																DT										
	BCG				↓																						
	麻疹・風疹混合(MR)																										
	*2 麻疹(はしか) 風疹																										
	4月 ～ 20年 間	麻疹・風疹混合(MR)																									
	4月 ～ 20年 間	*2 麻疹(はしか) 風疹																									
	日本脳炎																										
Hib *4 (インフルエンザ菌b型)				↓	↓	↓																					
肺炎球菌 *5 (7価結合型)				↓	↓	↓																					
HPV *6 (ヒトパピローマ ウイルス)	2価																										
生ボリオ(OPV)																											
肺炎球菌(23価多糖体)																											
インフルエンザ																											
水痘							↓	↓																			
おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)																											
B型肝炎																											
A型肝炎																											
ロタ *8 ウイルス	1価																										
	5価																										

*1 D:ジフテリア、P:百日咳、T:破傷風、IPV:不活化ポリオを表す。IPVは2012年9月1日から定期接種に導入。回数は4回接種ですが、OPVを1回接種している場合は、IPVをあと3回接種します。OPV(生ボリオワクチン)は2012年9月1日以降定期接種としては使用できなくなりました。

2012年11月1日からDPT-IPV混合ワクチンが定期接種に導入されます。IPVで接種を開始した場合、DPT-IPVで接種を開始した場合は、それぞれ原則として同じワクチンで接種を完了します。

*2 原則としてMRワクチンを接種。なお、同じ期間内でも麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けた者、あるいは特に単抗原ワクチンの接種を希望する者は単抗原ワクチンを接種。

*3 第1期で受けそびれていた人も、この年齢で残りの回数を定期接種として受けられます。なお、平成24年度に8歳となる者及び9歳となる者への第1期初回接種、10歳になる者への第1期追加接種は積極的勧奨の対象となります。詳しくは、平成24年2月28日付厚生労働省健康局長・栄養食品局長通知「日本脳炎の定期の予防接種について」の一部改正(健発0228第2号、食農発0228第1号)をご確認ください。

*4 2008年12月19日から国内での接種開始。生後2ヶ月以上5歳未満の間にある者に行なうが、標準として生後2ヶ月以上7ヶ月未満で接種を開始すること。接種方法は、通常、4~8週間の間隔で3回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能)。3回目の接種後おむね1年の間隔をおいて、1回皮下接種。接種開始が生後2ヶ月以上12ヶ月未満の場合は、通常、4~8週間の間隔で2回皮下接種(医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能)。2回目の接種後おむね1年の間隔をおいて、1回皮下接種。接種開始が1歳以上5歳未満の場合、通常、1回皮下接種。子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。

*5 2009年10月16日に薬事法に基づき製造販売承認され、2010年2月24日から国内での接種開始。生後2ヶ月以上7ヶ月未満で開始し、27日間以上の間隔で3回接種。追加免疫は通常、生後12~15ヶ月に1回接種の合計4回接種。接種もれ者には、次のようなスケジュールで接種。

生後2ヶ月以上12ヶ月未満の場合: 27日以上の間隔で2回接種したのち、60日間以上あけて追加接種を1歳以降に1回接種。1歳:60日間以上の間隔で2回接種。2歳以上9歳以下:1回接種。子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。

*6 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。左記事業の対象年齢は、13歳になる年齢から16歳になる年齢の者(あるいは12歳になる年齢から15歳になる年齢の者)

*7 妊娠中に検査を行い、HBs抗原陽性(HBe抗原陽性・陰性の両方とも)の母親からの出生児は、出生後できるだけ早期及び、生後2ヶ月にHBs免疫グロブリン(HBIG)を接種。ただし、HBe抗原陰性の母親から生まれた児の場合は2回目のHBIGを省略しても良い。

更に生後2,3,5,6ヶ月にHBワクチンを接種。生後6ヶ月後にHBs抗原及び抗体検査を行い、必要に応じて任意の追加接種を行う(健康保険適用)。

*8 ロタワイルズワクチンは初回接種を1価で始めた場合は『1価の2回接種』。5価で始めた場合は『5価の3回接種』となります。

乳幼児予防接種スケジュール Ver 2

国立感染症研究所 感染症情報センター

- 26 -

- 注1) 本スケジュール案は、2012年現在、接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。
- 注2) 接種に際しては次の決まりがあります。スケジュールを立てるときの参考にしてください。別の種類のワクチンを接種する場合は、以下のように接種することになっています。
「生ワクチンの接種後は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます。(例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます。)」
「不活化ワクチン接種後は、中6日(いわゆる1週間)以上あけて受けます。(例:月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます。)」

2012年4月1日改定

乳幼児予防接種スケジュール

乳幼児の予防接種スケジュール(例) その1

同時接種を希望するが、1回に受ける数は2種類以下を希望する場合

(受診回数: インフルエンザを除いて18回 または19回)

※ ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン

※※ 集団接種が実施されている場合があるため、BCGとポリオは単独にしているが、医師が必要と認めた場合は他のワクチンとの同時接種可能

※※※ 日本小兒科学会推奨案

● 注射の牛ワクチン(BCG) 別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます

(例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます)

不活化ワクチン 別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日(いわゆる1週間)以上

(例:月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます)

Digitized by srujanika@gmail.com

● 注射の生ワクチン(BCGは経皮接種)

▲ 経口の生ワクチン

○ 注射の不活化ワクチン

• 100 •

注) 本スケジュール案は、2012年現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して例を示したものです。接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関・保健所等でご相談ください。

* ロタウイルスワクチンは
初回接種を1価で始めた場合は『1価の2回接種』。
5価で始めた場合は『5価の3回接種』となります。

乳幼児予防接種スケジュール

乳幼児の予防接種スケジュール(例: その2)

同時接種を希望する場合(受診回数: インフルエンザを除いて14回)

※ ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン

※※※ 日本小児科学会推奨案

ワクチン 別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日（いわゆる4週間）以上あけて受けます
(例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます)

別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日（いわゆる1週間）以上あけて受けます
（例：日曜日に接種したら次は翌週の日曜日以降に受けます）

- 注射の生ワクチン(BCGは経皮接種)
- ▲ 経口の生ワクチン

■ 経口の生ツブチノ ○ 注射の不活化ロタコ

○ 注射の不活性ワクチン

注) 本スケジュール案は、2012年現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して例を示したもので、接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

- * 口タウイルスワクチンは
初回接種を1価で始めた場合は『1価の2回接種』。
5価で始めた場合は『5価の3回接種』となります。

乳幼児予防接種スケジュール

乳幼児の予防接種スケジュール(例) その3

単独接種を希望する場合(受診回数:インフルエンザを除いて29回または30回)

※ ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン

※※ 集団接種が実施されている場合があるため、BCGとポリオは単独にしているが、医師が必要と認めた場合は他のワクチンとの同時接種可能

※※※ 日本小兒科学会推奨案

生ワクチン 別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます
ノロウツキ

(例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます)
4週間以内に2回以上接種しないでください。

別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日(いわゆる1週間)以上あけて受けます

● 注射の生ワクチン(BCGは経皮接種)

▲ 経口の生ワクチ

○ 注射の不活化ワクチン

注) 本スケジュール案は、2012年現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発症状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

* ロタウイルスワクチンは
初回接種を1価で始めた場合は『1価の2回接種』。
5価で始めた場合は『5価の3回接種』となります。

制度	年齢	1歳							2歳	3歳	4歳	小学校入学前1年間 6歳になる年度 幼稚園・保育所最年長組相当	接種回数
	月齢	12ヶ月	13ヶ月	14ヶ月	15ヶ月	16ヶ月	17ヶ月	18~23ヶ月					
定期接種	DPT※								○				DPT※ 4回
	BCG※※												BCG※※ 1回
	ポリオ※※												ポリオ※※ 2回
	MR (麻疹・風疹)	●									●		MR (麻疹・風疹) 2回
	日本脳炎								○○	○			日本脳炎 3回
	ロタ* ウイルス	1価 5価											ロタウイルス* (1価または5価) 3回(5価)
	B型肝炎												B型肝炎 3回
	水痘		●										水痘 2回※※※
	おたふくかぜ			●									おたふくかぜ 2回※※※
	インフルエンザ	毎年10~11月に2~4週の間隔で2回接種(1回目と2回目は、できれば3~4週間空ける)。遅くとも12月中旬までに2回目の接種を終了させる。											インフルエンザ 每年2回
(定期外接種)	Hib(インフルエンザ菌b型)								○				Hib (インフルエンザ菌b型) 4回 (月齢によって異なる)
	PCV7 (小児用肺炎球菌)				○								PCV7 (小児用肺炎球菌) 4回 (月齢によって異なる)

乳幼児予防接種スケジュール

お子様のスケジュールを書き込んで下さい。

乳幼児の予防接種スケジュール(記載用)

お子様の生年月日に合わせて年月日を記載する欄にご利用下さい。	年													
	月													
	日													
制度	年齢													
	月齢	0ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	
	週齢	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47												
定期接種	DPT※													
	BCG※※													
	ポリオ※※													
	MR (麻疹・風疹)													
	日本脳炎													
定期外接種(任意接種)	ロタ* ウイルス 5価													
	B型肝炎													
	水痘													
	おたふくかぜ													
	インフルエンザ													
緊急保険接種(任意接種)	Hib(インフルエンザ菌b型)													
	PCV7 (小児用肺炎球菌)													

お子様の生年月日に合わせて年月日を記載する欄にご利用下さい。	年											
	月											
制度	年齢											
	月齢	12ヶ月	13ヶ月	14ヶ月	15ヶ月	16ヶ月	17ヶ月	18~23ヶ月	2歳	3歳	4歳	小学校入学前1年間 6歳になる年度 幼稚園・保育所最年長組相当
定期接種	DPT※											
	BCG※※											
	ポリオ※※											
	MR (麻疹・風疹)											
	日本脳炎											
定期外接種(任意接種)	ロタ* ウイルス 5価											
	B型肝炎											
	水痘											
	おたふくかぜ											
	インフルエンザ											
緊急保険接種(任意接種)	Hib(インフルエンザ菌b型)											
	PCV7 (小児用肺炎球菌)											

お子様の氏名		生年月日	年 月 日
--------	--	------	-------

※ ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン

※※ 集団接種が実施されている場合があるため、お住まいの市区町村、保健所にお問い合わせ下さい

※※※ 日本小児科学会推奨案

※※※※ 麻疹が流行している場合は、緊急避難的に麻疹単抗原ワクチンの接種をする場合があります

生ワクチン 別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます
(例:月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます)

不活化ワクチン 別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日(いわゆる1週間)以上あけて受けます
(例:月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます)

定期接種・ワクチン接種緊急促進事業で受けられる期間

任意接種として接種可能な期間

緊急避難的に単抗原ワクチンを接種する場合がある

注) 本スケジュール案は、2012年現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したもので、接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

乳幼児に接種する主なワクチンの種類

生ワクチンの種類	不活化ワクチン・トキソイドの種類
● BCG 注2)	■ DPT 注1) (ジフテリア・百日咳・破傷風混合)
● ポリオ 注1)注2) (OPV・生ポリオ)	■ DT(ジフテリア・破傷風混合) 注1)
● MR 注1) (麻疹・風疹混合)	■ 日本脳炎 注1)
● 麻疹(はしか) 注1)	■ インフルエンザ 注1)
● 風疹 注1)	■ B型肝炎 注1)
● 水痘 注1)	■ Hib(インフルエンザ菌b型) 注1)
● おたふくかぜ 注1)	■ PCV7 注1) (小児用肺炎球菌:7価結合型)
● ロタウイルス 注1)	

注1) 同じ種類のワクチンを複数回接種する場合は、それぞれのワクチンによって接種間隔が決まっています。決められた接種間隔で接種しましょう。

注2) 集団接種で実施されている場合があるので、接種場所/接種時期については、お住まいの市区町村・保健所にお問い合わせ下さい。

* ロタウイルスワクチンは初回接種を1価で始めた場合は『1価の2回接種』、5価で始めた場合は『5価の3回接種』となります。

接種完了チェックリスト

ワクチンの接種	接種回数	ワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい
DPT※	4回	
BCG※※	1回	
ポリオ※※	2回	
MR (麻疹・風疹)	2回	
日本脳炎	3回	
ロタウイルス*	2回(1価) (1価または5価) 3回(5価)	
B型肝炎	3回	
水痘	2回※※※	
おたふくかぜ	2回※※※	
インフルエンザ	毎年2回	隣の表をお使い下さい→
Hib(インフルエンザ菌b型)	4回(月齢によって異なる)	
PCV7 (小児用肺炎球菌)	4回(月齢によって異なる)	

インフルエンザ
接種回数:毎年2回
ワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい

0歳	
1歳	
2歳	
3歳	
4歳	
5歳	
6歳	

乳幼児予防接種スケジュール

同時接種を希望するが、1回に受ける数は2種類以下を希望する場合
(受診回数:インフルエンザを除いて18回または19回)

乳幼児の予防接種スケジュール(例: その1)

同時接種を希望するが、1回に受ける数は2種類以下を希望する場合(受診回数:インフルエンザを除いて18回または19回)

お子様の氏名		生年月日	年 月 日
--------	--	------	-------

注) 本スケジュール案は、2012年現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体制や周囲の感染症発生状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

乳幼児の予防接種スケジュール(記載用)

お子様のスケジュールを書き込んで下さい。

ワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい。

インフルエンザのワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい(毎年2回)

乳幼児予防接種スケジュール

同時接種を希望する場合(受診回数:インフルエンザを除いて14回)

※ ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン
※※ 集団接種が実施されている場合があるため、BCGとポリオは単独にしているが、医師が必要と認めた場合は他のワクチンとの同時接種可能
※※※ 日本小児科学会推奨案
※※※※ 麻疹が流行している場合は、緊急避難的に麻疹単抗原ワクチンの接種をする場合があります
生ワクチン 別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます (例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます)
不活化ワクチン 別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日(いわゆる1週間)以上あけて受けます (例:月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます)
定期接種 定期接種・ワクチン接種緊急促進事業で受けられる期間
任意接種 任意接種として接種可能な期間
緊急避難的 単独抗原ワクチンを接種する場合がある
● 注射の生ワクチン(BCGは経皮接種)
▲ 経口の生ワクチン
○ 注射の不活化ワクチン

乳幼児の予防接種スケジュール(例:その2)
同時接種を希望する場合(受診回数:インフルエンザを除いて14回)

制度	年齢 月齢	0歳												1歳												接種回数	
		0ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月	13ヶ月	14ヶ月	15ヶ月	16ヶ月	17ヶ月	18~23ヶ月	2歳	3歳	4歳	6歳になる年度 幼稚園・保育所 最年長組相当	ワクチンの接種	接種回数	
DPT※	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47	○	○	○																						DPT※	4回
BCG※※																										BCG※※	1回
ポリオ※※																										ポリオ※※	2回
MR (麻疹・風疹)																										MR (麻疹・風疹)	2回
日本脳炎																										日本脳炎	3回
ロタキ ウイルス (1価 5価)																										ロタウイルス※ (1価または5価)	2回(1価) 3回(5価)
B型肝炎																										B型肝炎	3回
水痘																										水痘	2回※※※
おたふくかぜ																										おたふくかぜ	2回※※※
インフルエンザ																										インフルエンザ	毎年2回
Hib(インフル エンザ菌b型)																										Hib(インフルエンザ菌b型)	4回 (月齢によって異なる)
PCV7 (小児用肺炎球菌)																										PCV7 (小児用肺炎球菌)	4回 (月齢によって異なる)

乳幼児の予防接種スケジュール(記載用)

お子様のスケジュールを書き込んで下さい

注) 本スケジュール案は、2012年現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

* ロタウイルスワクチンは初回接種を1価で始めた場合は『1価の2回接種』。5価で始めた場合は『5価の3回接種』となります。

制度	年齢 月齢	0歳												1歳												接種完了チェックリスト	
		0ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月	13ヶ月	14ヶ月	15ヶ月	16ヶ月	17ヶ月	18~23ヶ月	2歳	3歳	4歳	6歳になる年度 幼稚園・保育所 最年長組相当	ワクチンの接種	接種回数	
DPT※	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47	○	○	○																						DPT※	4回
BCG※※																										BCG※※	1回
ポリオ※※																										ポリオ※※	2回
MR (麻疹・風疹)																										MR (麻疹・風疹)	2回
日本脳炎																										日本脳炎	3回
ロタキ ウイルス (1価 5価)																										ロタウイルス※ (1価または5価)	2回(1価) 3回(5価)
B型肝炎																										B型肝炎	3回
水痘																										水痘	2回※※※
おたふくかぜ																										おたふくかぜ	2回※※※
インフルエンザ																										インフルエンザ	毎年2回
Hib(インフル エンザ菌b型)																										Hib(インフルエンザ菌b型)	4回 (月齢によって異なる)
PCV7 (小児用肺炎球菌)																										PCV7 (小児用肺炎球菌)	4回 (月齢によって異なる)

↓ワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい

DPT※	BCG ※※	ポリオ※※	MR (麻疹・風疹)	日本脳炎	ロタウイルス(1価)	B型肝炎	水痘	おたふくかぜ	Hib (インフルエンザ菌b型)	PCV7 (小児用肺炎球菌)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	

↓インフルエンザのワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい:毎年2回

乳幼児予防接種スケジュール

単独接種を希望する場合(受診回数:インフルエンザを除いて29回または30回)

※ ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン		
※※ 集団接種が実施されている場合があるため、BCGとポリオは単独にしているが、医師が必要と認めた場合は他のワクチンとの同時接種可能		
※※※ 小児学会推奨案		
※※※※ 痘疹が流行している場合は、緊急避難的に麻疹単抗原ワクチンの接種をする場合があります		
<table border="1"><tr><td>生ワクチン</td><td>別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます (例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます)</td></tr></table>	生ワクチン	別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます (例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます)
生ワクチン	別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます (例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます)	
<table border="1"><tr><td>不活化ワクチン</td><td>別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日(いわゆる1週間)以上あけて受けます (例:月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます)</td></tr></table>	不活化ワクチン	別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日(いわゆる1週間)以上あけて受けます (例:月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます)
不活化ワクチン	別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日(いわゆる1週間)以上あけて受けます (例:月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます)	
<table border="1"><tr><td>定期接種・ワクチン接種緊急促進事業で受けられる期間</td><td>● 注射の生ワクチン(BCGは経皮接種)</td></tr></table>	定期接種・ワクチン接種緊急促進事業で受けられる期間	● 注射の生ワクチン(BCGは経皮接種)
定期接種・ワクチン接種緊急促進事業で受けられる期間	● 注射の生ワクチン(BCGは経皮接種)	
<table border="1"><tr><td>任意接種として接種可能な期間</td><td>△ 経口の生ワクチン</td></tr></table>	任意接種として接種可能な期間	△ 経口の生ワクチン
任意接種として接種可能な期間	△ 経口の生ワクチン	
<table border="1"><tr><td>緊急避難的に単体抗原ワクチンを接種する場合がある</td><td>○ 注射の不活化ワクチン</td></tr></table>	緊急避難的に単体抗原ワクチンを接種する場合がある	○ 注射の不活化ワクチン
緊急避難的に単体抗原ワクチンを接種する場合がある	○ 注射の不活化ワクチン	

お子様の氏名		生年月日	年 月 日
--------	--	------	-------

乳幼児の予防接種スケジュール(例: その3)

単独接種を希望する場合(受診回数:インフルエンザを除いて29回または30回)

制度	年齢 月齢	0歳																		1歳								接種回数																						
		0ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月	13ヶ月	14ヶ月	15ヶ月	16ヶ月	17ヶ月	18-23ヶ月	2歳	3歳	4歳	ワクチンの接種	接種回数																									
	週齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	小学校入学前1年間 6歳になる年度 幼稚園／保育所 最年長組相当
定期接種	DPT※									○																								DPT※	4回															
	BCG※										○																						BCG※	1回																
	ポリオ※※											●																					ポリオ※※	2回																
	MR (麻疹・風疹)																																MR (麻疹・風疹)	2回																
	日本脳炎																																日本脳炎	3回																
(定期外接種)	ロタ*	1回																														ロタウイルス*	2回(1回) (1回または5回)																	
	ウイルス 5価																															ウイルス 5価	3回(5回)																	
	B型肝炎									○	○	○																			B型肝炎	3回																		
	水痘																															水痘	2回※※※																	
	おたふくかぜ																															おたふくかぜ	2回※※※																	
	インフルエンザ																															インフルエンザ	毎年2回																	
(任意接種)	Hib (インフルエンザ菌b型)																															Hib (インフルエンザ菌b型)	4回																	
	エンザ菌b型)																															エンザ菌b型)	(月齢によって異なる)																	
	PCV7																															PCV7	4回																	
	(小児用肺炎球菌)																															(小児用肺炎球菌)	(月齢によって異なる)																	

乳幼児の予防接種スケジュール(記載用)

お子様のスケジュールを書き込んで下さい。

注) 本スケジュール案は、2012年現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したもので、接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

↓ワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい

インフルエンザのワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい：毎年2回

乳幼児予防接種スケジュール

乳幼児の予防接種スケジュール(例:その1)

同時接種を希望するが、1回に受ける数は2種類以下を希望する場合(受診回数:インフルエンザを除いて18回または19回)

制度	年齢 月齢 週齢	0歳												1歳												接種回数	
		0ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月	13ヶ月	14ヶ月	15ヶ月	16ヶ月	17ヶ月	18~23ヶ月	2歳	3歳	4歳	ワクチンの接種	接種回数		
定期接種	DPT※	○	○	○																						DPT※	4回
	BCG※※																									BCG※※	1回
	ポリオ※※																									ポリオ※※	2回
	MR (麻疹・風疹)																									MR (麻疹・風疹)	2回
	日本脳炎																									日本脳炎	3回
(定期外接種)	ロタ※ (1回 ウイルス 5価)																									ロタウイルス※ (1回または5価)	2回(1回) 3回(5価)
	B型肝炎	○	○	○																						B型肝炎	3回
	水痘																									水痘	2回※※※
	おたふくかぜ																									おたふくかぜ	2回※※※
	インフルエンザ																									インフルエンザ	毎年2回
(ワクチン定期接種)	Hib(インフルエンザ菌b型)	○	○	○																						Hib (インフルエンザ菌b型)	4回 (月齢によって異なる)
	PCV7 (小児用肺炎球菌)	○	○	○																						PCV7 (小児用肺炎球菌)	4回 (月齢によって異なる)

乳幼児の予防接種スケジュール(例:その2)

同時接種を希望する場合(受診回数:インフルエンザを除いて14回)

制度	年齢 月齢 週齢	0歳												1歳												接種回数	
		0ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月	13ヶ月	14ヶ月	15ヶ月	16ヶ月	17ヶ月	18~23ヶ月	2歳	3歳	4歳	ワクチンの接種	接種回数		
定期接種	DPT※	○	○	○																						DPT※	4回
	BCG※※																									BCG※※	1回
	ポリオ※※																									ポリオ※※	2回
	MR (麻疹・風疹)																									MR (麻疹・風疹)	2回
	日本脳炎																									日本脳炎	3回
(定期外接種)	ロタ※ (1回 ウイルス 5価)																									ロタウイルス※ (1回または5価)	2回(1回) 3回(5価)
	B型肝炎	○	○	○																						B型肝炎	3回
	水痘																									水痘	2回※※※
	おたふくかぜ																									おたふくかぜ	2回※※※
	インフルエンザ																									インフルエンザ	毎年2回
(ワクチン定期接種)	Hib(インフルエンザ菌b型)	○	○	○																						Hib (インフルエンザ菌b型)	4回 (月齢によって異なる)
	PCV7 (小児用肺炎球菌)	○	○	○																						PCV7 (小児用肺炎球菌)	4回 (月齢によって異なる)

乳幼児の予防接種スケジュール(例:その3)

単独接種を希望する場合(受診回数:インフルエンザを除いて29回または30回)

制度	年齢 月齢 週齢	0歳												1歳												接種回数	
		0ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月	13ヶ月	14ヶ月	15ヶ月	16ヶ月	17ヶ月	18~23ヶ月	2歳	3歳	4歳	ワクチンの接種	接種回数		
定期接種	DPT※	○	○	○																						DPT※	4回
	BCG※※																									BCG※※	1回
	ポリオ※※																									ポリオ※※	2回
	MR (麻疹・風疹)																									MR (麻疹・風疹)	2回
	日本脳炎																									日本脳炎	3回
(定期外接種)	ロタ※ (1回 ウイルス 5価)																									ロタウイルス※ (1回または5価)	2回(1回) 3回(5価)
	B型肝炎	○	○	○																						B型肝炎	3回
	水痘																									水痘	2回※※※
	おたふくかぜ																									おたふくかぜ	2回※※※
	インフルエンザ																									インフルエンザ	毎年2回
(ワクチン定期接種)	Hib(インフルエンザ菌b型)	○	○	○																						Hib (インフルエンザ菌b型)	4回 (月齢によって異なる)
	PCV7 (小児用肺炎球菌)	○	○	○																						PCV7 (小児用肺炎球菌)	4回 (月齢によって異なる)

日本の定期/任意予防接種スケジュール(20歳未満)(平成24年4月1日以降)

		出生時	生後2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳
定期 一類疾病 予防接種法	*1 DPT I期 DT II期		DPT														DT									
	BCG																									
	ポリオ (経口)																									
	麻疹・風疹 混合(MR)																									
	*2 麻疹(はしか) 風疹																									
	4平 月 ～ 20 年 年間	麻疹・風疹 混合(MR)																								
	*2 麻疹(はしか) 風疹																									
	日本脳炎																									
	Hib *4 (インフルエンザ菌b型)																									
	肺炎球菌 *5 (7価結合型)																									
任意接種	HPV *6 2価 (ヒトパピローマ ウイルス) 4価																									
	肺炎球菌 (23価多糖体)																									
	インフルエンザ																									
	水痘																									
	おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)																									
	B型肝炎																									
	A型肝炎																									
	ロタ *8 ウイルス	1価		2回接種																						
		5価		3回接種																						

*1 D:ジフテリア、P:百日咳、T:破傷風を表す。

*2 原則としてMRワクチンを接種。なお、同じ期間で麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けた者、あるいは特に単抗原ワクチンの接種を希望する者は単抗原ワクチンを接種。

*3 第1期で受けぞびれていた人も、この年齢で残りの回数を定期接種として受けられます。なお、平成24年度に8歳となる者及び9歳となる者への第1期初回接種、10歳になる者への第1期追加接種は積極的奨励の対象となります。

詳しくは、平成24年2月28日付厚生労働省健康局長・医薬食品局長通知「日本脳炎の定期の予防接種について」の一部改正（健発0228第2号、薬食発0228第1号）をご確認ください。

*4 2008年12月19日から国内での接種開始。生後2ヶ月以上5歳未満の間にある者に行なうが、標準として生後2ヶ月以上7ヶ月未満で接種を開始すること。接種方法は、通常、4～8週間の間隔で3回皮下接種（医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能）。3回目の接種後おおむね1年の間隔をおいて、1回皮下接種。接種開始が生後7ヶ月以上12ヶ月未満の場合は、通常、4～8週間の間隔で2回皮下接種（医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能）。2回目の接種後おおむね1年の間隔をおいて、1回皮下接種。接種開始が1歳以上5歳未満の場合、通常、1回皮下接種。子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。

*5 2009年10月16日に薬事法に基づき製造販売承認され、2010年2月24日から国内での接種開始。生後2ヶ月以上7ヶ月未満で開始し、27日間以上の間隔で3回接種。追加免疫は通常、生後12～15ヶ月に1回接種の合計4回接種。接種もれ者には、次のようなスケジュールで接種。生後7ヶ月以上12ヶ月未満の場合：27日以上の間隔で2回接種したのち、60日間以上あけて追加接種を1歳以降に1回接種。2歳以上9歳以下：1回接種。子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。

*6 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象。左記記事の対象年齢は、13歳になる年齢から16歳になる年齢の者（あるいは12歳になる年齢から15歳になる年齢の者）

*7 妊娠中に検査を行い、HBs抗原陽性(HBe抗原陽性、陰性の両方とも)の母親からの出生兒は、出生後できるだけ早期及び、生後2ヶ月にHB免疫グロブリン(HBIG)を接種、ただし、HBe抗原陰性の母親から生まれた児の場合は2回目のHBIGを省略しても良い。更に生後2,3ヶ月にHBウイルスを接種する。生後6ヶ月後にHBs抗原及び抗体検査を行い必要に応じて任意の追加接種を行う（健康保険適用）。

*8 ロタウイルスワクチンは初回接種を1価で始めた場合は「1価の2回接種」。5価で始めた場合は「5価の3回接種」となります。

乳幼児予防接種スケジュール Ver 3

国立感染症研究所 感染症情報センター

- 36 -

- 注1) 本スケジュール案は、2012年現在、接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。
- 注2) 接種に際しては次の決まりがあります。スケジュールを立てるときの参考にしてください。別の種類のワクチンを接種する場合は、以下のように接種することになっています。
「生ワクチンの接種後は、中27日(いわゆる4週間)以上あけて受けます。(例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます。)」
「不活化ワクチン接種後は、中6日(いわゆる1週間)以上あけて受けます。(例:月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます。)」

2012年11月1日改定